



第141号
昭和38年6月20日
発行所
宮崎県東郷郡
東郷村役場

国民健康保険十周年 直営病院開設九周年 を迎えて

村長 黒木松美

本村の国民健康保険制度が施行されて十周年直営病院が開設してより茲に九周年を迎えることになりました。このことを村民の皆様と共に喜びに堪えない次第であります。

かえりみずと国民健康保険制度の実施は本村として戦時中の組合組織当時苦しい体験を喫しており、以来八ヶ年その必要にせまられながらも、時日を遷延してまいりました。本事業に村民の強い要望と本事業に対する社会の趨勢は徒に遷延を許さず、昭和二十七年を準備期として二十八年四月一日を期して実施したものであります。



村立東郷病院（本館と伝染病棟）

診療所の施設工事にかかり昭和二十九年六月開院、更に昭和三十一年三月病棟を増設、尚昭和三十六年度においは、伝染病棟を併設した国の施策に順応し幼児保育施設、失業対策事業、病院施設の整備等厚生事業に充分意を用いると共に村民経済の向上を図り、相まって村民福祉の向上に寄与せんと努力してまいりました。

御承知の通り我が国の医療保障制度も組織的にあらゆる分野があり、国民の大部分が被保険者として組織されている。国民健康保険は他の保険制度に比較し財政的にも給付内容等においても劣っていない現状から国民負担の増大に際しては、財政の健全化と給付内容の向上を関係機関に訴えてきたのであります。が、ようやく本年十月より世帯主に対して七割の給付増上を見込み、これによって増加する医療費の保険者負担も国の財政的裏付けを得たのであります。

又、低所得者に対する国民健康保険税の減税対策も明るいみとおしであります。この家族に対する給付引上げにたいして今後大いに努力したい所存であります。

以上申述べました通り本事業の運営につきましては改善すべきことがたくさんあります。が、村民福祉のためにはあらゆる困難と取組み、解決してゆくことが私に課せられた責務であるのであります。

ここに記念日を迎えるに当りこれ等の制度が円満なる発展向上を遂げることを祈念すると共に村民各位のより一層の御指導と御協力を祈つてやまない次第であります。

農業構造改善に思う

この前本村に招いて中央公民館で講演していただいた松丸志摩三先生はその著書「農民はいま何をなすか」の中で、企業家的農民になるためのポイントの題の下に

「ことしの正月、あるところで行なわれた座談会に「新春村づくり談話」という名前がつけられていました。

「村づくり」の時代であったといつてよかつた。しかし構造改善というところが問題にされている。今度事情がらう。つまり経営の営み方を古いものから新しいものに改めることをねらった。経営の構造改善というものは、決して村づくりをねらったものではない。だから、あつた時代は「家づくり」の時代だといふべきだ。

父の声

牧水

父の声
いづくにか父の声きこゆこの古き大きな家の秋のゆふべに
ほたほたとよるこぶ父のあから顔このせならぬ尊きに涙
おちぬれ
わがそばに心ぬけたるすがたしてとすれば父の来て居ること多し



派出所便り

一、農繁期の防犯

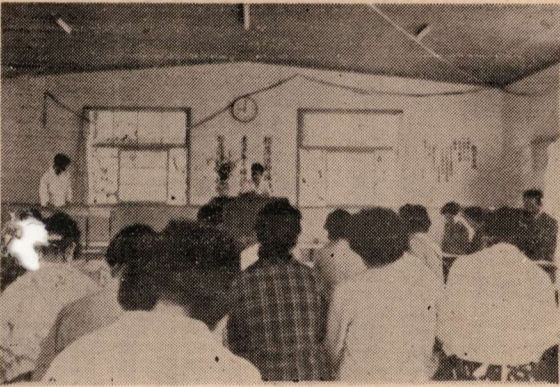
二、おとしもの、ひろいもの

Table with 2 columns: District names and names of district heads/citizens. Includes names like 寺迫 黒木 今朝松, 福瀬 平野 武士, etc.

ミルク給食と農民の立場

杉田三郎

今年から村内全乳給食が実施されることになった。...



坪谷地区婦協総会風景

黒木アツ子新会長のもとで総会が開かれ本年度の行事や予算が審議された

昭和三十八年度 東郷村公民館運営方針並に努力目標

夏の健康を守る 伝染病予防の注意書

昭和三十八年度 東郷村青年団協議会の運動方針並に事業計画について

昭和三十八年度 東郷村公民館運営方針並に努力目標

昭和三十八年度 東郷村青年団協議会の運動方針並に事業計画について

昭和三十八年度 東郷村公民館運営方針並に努力目標

昭和三十八年度 東郷村青年団協議会の運動方針並に事業計画について

住民課からお願いとお知らせ

花 雑感

住民課からお願いとお知らせ

文芸欄

文芸欄

文芸欄

点 痛

点 痛

点 痛